

雨龍研究林が自然共生サイトに認定

～気候変動対策と生物多様性保全へ貢献～

【概要】

2023 年 4 月から環境省による自然共生サイト^{*1} 認定制度の本格運用が開始されたことを受け、北海道大学は保有する雨龍研究林（24,953ha）の認定申請を行い、2023 年 10 月 6 日（金）に生物多様性の保全に貢献している区域として「自然共生サイト」の認定を受けました。

令和 5 年度前期「自然共生サイト」認定結果について（環境省報道発表資料）

https://www.env.go.jp/press/press_02179.html

北海道大学雨龍研究林詳細資料（環境省自然共生サイト認定サイト一覧）

https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/documents/nintei/R4Late2_Uryu_Research_Forest.pdf

今後、雨龍研究林内の保護地域である鳥獣保護区（698ha）との重複を除いた区域（24,255ha）が OECM^{*2} 国際データベースに登録される予定です。

北海道大学は、世界課題の解決や地域への貢献に向け、知的資産と物的資産を活用し、30by30^{*3} 目標の達成への貢献はもちろん、気候変動対策と生物多様性保全（ネイチャーポジティブ）の両立に向けた統合的なサステナビリティの推進に取り組めます。

【雨龍研究林について】

雨龍研究林は、本学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーションに属する研究林（天塩・中川・雨龍・札幌・苫小牧・檜山・和歌山の計 7 ヶ所）の一つで、1901 年に本学に最初に創設された研究林です。

雨龍研究林は我が国有数の多雪地帯に位置し、絶滅危惧種であるイトウなど貴重な野生生物の生育地となっています。同林には、アカエゾマツなどの常緑針葉樹やミズナラ、シラカンバなどの落葉広葉樹が混ざって生育している針広混交林が成立しており、これまで環境省のモニタリング 1000 事業などの、生物多様性に関する基礎的な情報を長期に収集することを目的とした研究、深刻化する気候変動対策に関する研究、生物多様性に配慮した森林管理が進められてきました。

今回の自然共生サイト認定にあたっては、長年にわたる調査研究や森林管理によって、原生的な自然生態系及び希少な動植物の生息・生育の場が保全されてきたことなどが評価されました。これまでの雨龍研究林の取組については、下記 web ページをご覧ください。

雨龍研究林 <https://www.hokudaiforest.jp/about-us/雨龍研究林/>



雨龍研究林の位置



貴重な泥炭湿地林が広がる研究林内の泥川流域



朱鞠内湖上から雨龍研究林を望む



約 40 年間に渡って続けられている長期的な樹木の成長調査

【自然共生サイト認定申請に至った経緯】

広大なキャンパスや総面積約 70,000ha（我が国の国土面積の約 0.2%）に及ぶ研究林など多様なフィールドを保有し、長年にわたり教育・研究・管理活動を積み重ねてきた北海道大学は、30by30 目標の達成に知的資産・物的資産の両面から貢献し得る教育研究機関・事業体として、国立大学としては初めて 2022 年 6 月に「生物多様性のための 30by30 アライアンス」*4 に参画しました。

今回の自然共生サイト認定制度の運用に先駆けて、雨龍研究林は、2022 年 9 月より実施された環境省の「令和 4 年度自然共生サイト認定実証事業（試行後期）」に対象サイトとして参加し、審査プロセスの試行・検証に協力しました。試行の結果、2023 年 1 月に、生物多様性の保全に貢献している区域として「認定に相当する」との審査結果を受けました。

2023 年 4 月から正式に自然共生サイト認定制度の運用が開始されたことを受け、正式認定を受けるための申請を行い、今回、認定を受けるに至りました。

お問い合わせ先

< 自然共生サイト認定に関すること >

北海道大学サステナビリティ推進機構サステナブルキャンパスマネジメント本部

T E L 011-706-3660 F A X 011-706-4884 メール osc@osc.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>

< 雨龍研究林に関すること >

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 雨龍研究林

T E L 0165-38-2125 F A X 0165-38-2410 メール uryu@fsc.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

【用語解説】

- *1 自然共生サイト … 民間の取組によって生物多様性の保全が図られている区域を国（環境大臣）が認定した区域。
- *2 OECM … Other Effective area-based Conservation Measures の略。国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する地域。
- *3 30by30 … 2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的な目標。
- *4 生物多様性のための 30by30 アライアンス … 30by30 目標達成に向けた仕組みの構築を目指して設立された、環境省をはじめとする行政、企業、NPO 等の有志連合。詳細は下記 web ページ。
生物多様性のための 30by30 アライアンス事務局
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/index.html#alliance>